

令和4年度 学校評価

自己評価部門

重点目標

年度報告

令和5年4月22日

鶴見大学附属中学校・高等学校

はじめに

総持学園では、創立100周年構想として「Vision100」の計画が進められている。本校では、「学びの心で世界を変える。」を教育目標宣言とし、平成27年度より「クレイン 翼 プロジェクト100」を計画実行している。その目標達成のために、「人間力」・「基礎学力」をベースとして、「挑戦する力」・「探究する力」・「共に生きる力」の5つの力の育成に取り組むことを決めている。そして、目指すべき将来像を「建学の精神を基盤に、グローバル化した未来を生きる力を育て、社会から高く評価され、保護者から深く信頼される卓越した中学校・高等学校」とし、100周年を見据えて、以下のような施策を実践することとしている。

- (1) ホームページのさらなる充実や、公立中学校への情報提供、受験に向けた塾との関係強化といった募集活動を再構築するなど、「中高校として個性の発信」
- (2) さらなる生徒の学力向上、当面はG-MARCHに100名以上の合格実績を目指しさらに、IBの目指す教育にも学びつつ、国内の大学のみならず、海外の大学への進学をサポートすることも考えた「保護者に信頼される教育の実践」
- (3) 保護者に信頼される丁寧な教育を展開するため、健全で働き甲斐のある職場づくりを目指した「総持学園の一員として生きがいの持てる職場環境の整備」
- (4) 目標を掲げた計画的な学校経営を実行する上で、永続的に学校を継続させる基礎的条件として「安定した基盤をもつ法人の経営」

本「学校評価自己評価部門重点目標年度報告」の巻末には、資料として、「学校組織図」、「職員名表」、「生徒在籍数表」、「部活動加入者人数表」、「授業・部活動・教科教室型校舎・進路に関する生徒のアンケート結果」、「授業参観に関する保護者のアンケート結果」、「卒業生の主な合格先」を掲載してあるので、それらを参考にしていただきたい。

目次

はじめに	1
目次	2
令和4年度 目標	3
(1) 長期目標	3
(2) 分野及び中期目標	3
(3) 令和4年度重点目標	4
(4) 評価の基準	4
(5) 結果	5
学年	
1st ステージ	5
2nd ステージ	6
3rd ステージ	7
教科	
国語科	8
社会科（地理・歴史／公民）	8
数学科	9
理科	10
英語科	11
保健体育科	11
芸術科	12
家庭科	13
探究科	13
部署	
生徒指導部	15
学習進路指導部	16
入試広報部	19
教務部	20
事務部	21
管理部門	23
(6) 資料編	25
学校組織図	26
職員名表	27
生徒在籍数表	28
部活動加入者人数	29
授業・部活動・教科教室型校舎・進路に関する生徒のアンケート結果	30
授業参観に関する保護者のアンケート結果	33
卒業生の主な合格先	35

令和4年度 目標

(1) 長期目標（大目標）

自立の精神と心豊かな知性を育み国際社会に貢献できる人間を育てる。

教育目標宣言：「学びの心で世界を変える。」

方針：生徒に自分の「好き」をみつけさせ、夢や目標を芽吹かせ、未来に花開かせる。

(2) 分野及び中期目標（中目標）

1. 中高校としての個性の発信

(1)社会や保護者に向けての情報を提供する。

(2)中学校・受験業界との関係を強化する。

(3)同窓会との連携を強化する。

(4)地域との連携を強化する。

(5)高大連携を強化する。

(6)自校史学習の拠点を整備する。

2. 保護者に信頼される教育の実践

(1)学力の育成と向上：知的好奇心を伸ばし、自ら学ぶ力を身に付ける。

(2)人間形成の実践：禅の精神に基づいて、豊かな心を育む。

(3)国際教育の展開：国際舞台で活躍できるコミュニケーション能力を伸ばす。

(4)生徒の就学支援を充実させる。

(5)施設設備環境の整備をはかる。

3. 総持学園の一員としての生きがいの持てる職場環境

(1)魅力ある職場づくりにつとめる。

(2)コミュニケーションがよい、職場づくりをする。

4. 安定した経営基盤を持つ法人

(1)安定した経営基盤づくりを進める。

(2)目標を掲げた計画的な学校経営をする。

(3)ガバナンスを強化する。

(3) 令和4年度重点目標

① ステージの重点目標

重点目標	自立の精神をもった、人間性豊かな生徒を育てる。
------	-------------------------

② 教科の重点目標

重点目標	教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。
------	----------------------------

③ 各部署の重点目標

生徒指導部

重点目標	ルールやマナーを守らせ、よりよい学校生活を送れるように指導・支援する。
------	-------------------------------------

学習進路指導部

重点目標	教科エリア型校舎の特長を生かし、「学びから入る進路指導」を実践する。
------	------------------------------------

入試広報部

重点目標	中学入試・高校入試ともに募集定員を確保する。
------	------------------------

教務部

重点目標	新しい生活様式を踏まえ、教科エリア型校舎の新機能を最大限に活用し、教育の更なる充実を図る。
------	---

事務部

重点目標	業務の基本を再点検・確認し思い込み等によるミスを防止し、対内外より信頼される事務部となるよう努める。
------	--

管理部門

重点目標	施策の体系を新型コロナウイルス感染症対策等の危機管理も含めて再構築し、関係部署と連携を図りながら、計画的かつ確実に実行できるよう努める。
------	--

(4) 評価の基準

評価	評価の内容
5	十分な達成度である。
4	ある程度満足のいく達成度である。
3	概ねの達成度である。
2	不満の残る達成度である。
1	ほとんど達成されていない。

(5) 結果

① 各ステージの重点目標

1st ステージ

1) 結果

評価		
重点目標	自立の精神をもった、人間性豊かな生徒を育てる。	3.5
評価項目①	Gyro手帳を積極的に活用し、基本的生活・学習習慣を定着させる。	4
評価項目②	中学生の自覚を持って、自主自立した行動ができるようにする。	3
評価項目③	ステージ目標「えいき」を大切にし、相互理解の観点を持って充実したコミュニケーションを図れるようとする。	3
評価項目④	課外活動や集団行動に前向きに取り組み、夢をもって学校生活を過ごす。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	1学年部は、進学クラスにおいて、男子は元気で落ち着きがない生徒が多く、担任の先生が苦労されていた。2学年部は、不登校の生徒が多く、各担任の先生が苦労されていた。女子は全体的には落ち着いて、学校生活を送っていたように感じる。2学期末に面談等により、多少改善が見られ、来年度に期待できそうである。全体的には、精神的にも成長し、大きな問題を起こすことなくそれぞれが考えて行動できるようになり、いろいろな面で成長が感じられた。
評価項目①	進学と難関進学クラスの間で差はある。入学時より、Gyro手帳の活用に関しては各クラス担任が、徹底して指導と確認をしてきている。上手に活用して、学習計画ができると生徒は効果が出てきていると思われる。手帳の活用と、記入については二極化してきている傾向がありそこが課題である。
評価項目②	中学生としての自覚を持ち行動できていた。また、教員のアドバイスも生徒は素直に受け止め、はつらつと楽しそうに過ごすことができた。「自主自立した行動」に関してはまだ課題が多い。自分で考えて行動することはそれぞれの学習活動や学年で体験することによって育まれると考える。
評価項目③	クラスとして参加した行事球技大会や体育祭は、男女仲良く協力しながら行えたクラスと、男子と女子の間に隔たりがあるクラスと二極化しているように感じた。なかなか全体の前で自分の意見や、リーダーシップをとることが出来ない生徒が多いように感じる中、少ない体験の中で一つ一つの出来事を通して、成長がうかがえた。2学年部の生徒においては、お互いを理解し考えながら行動することができるようになり、この1年での成長が感じられた。また、授業に対しても落ち着きが見られた。
評価項目④	部活加入率は高く、それぞれの放課後を充実して過ごしているが、勉強との両立は課題といえる。中学入試合格後の安心による反動が見られる傾向もあるので、キャリア教育もじっくりと実践していきたい。課外活動や集団行動を行う場面では、積極的に取り組む姿が見られた。

2nd ステージ

1) 結果

評価	
重点目標	自立の精神をもった、人間性豊かな生徒を育てる。
評価項目①	常に自己を見つめ、自分と向き合い自己理解を深める。
評価項目②	何事にも目標を掲げ、計画を立て、それを強い熱意で実行する自立心を持つ。
評価項目③	身の回りの整理整頓は頭の整理整頓、時間の余裕は心の余裕とし実践する。
評価項目④	常に素直な気持ちで、人の話をしっかりと目で聴き、自己の成長に繋げる。

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	中学と高校という2つの課程にまたがった2ndステージでは、同じ歩調で進めるということにはやや難しいところがあるものの、講堂朝礼においては自己を見つめるといった黙念の時間を含めて、自ら前向きに取り組む様子が良く見られた。また延期されての実施となった弁論大会においては、例年よりも弁士の取り組み姿勢が良く、豊かな人間性が育ちつつある様子が見られた。反面、後述の通り評価項目②③についての達成度にはまだまだ取り組む余地があるようと思われる。それでも人間関係や日頃の学校生活などから見て上記のような評価とした。
評価項目①	講堂朝礼や特活・道徳の時間を通じて、「自己理解」のきっかけを与えることができた。特活・道徳の題材についても、その時期の応じたものを取り上げることで、成果が上がったものと考えている。また例年通り「黙然」の時間を大切にすることで、自分と向き合うための時間として指導してきた。多数の生徒たちがこの時間の大切さに気づいてくれたものと思われる。
評価項目②	各担任の指導の下、生徒たちはジャイロ手帳を用いPDCAサイクルの確立に努めているので、今後を見据えて計画を立てることの重要性は、浸透していると思われる。生徒の取り組みには個人差が生じてはいるものの、達成に向けて継続的に努力を重ねるといった点では、十分な成果が上がっているのは一部に止まっているようだ。
評価項目③	10月から本来の移動教室を再開したが、ホームベース・教科教室とともに使い方に不慣れな点が多く、忘れ物や片付けなどでまだ達成度が不十分な生徒が一定数いる。また講堂朝礼においても、遅刻の常習者が若干見受けられる。それでも授業に向かう際には遅刻せずに、おおむね時間は守られているようである。
評価項目④	生徒たちはおおむね穏やかで、素直に人の話を聞くことができているように感じている。3学年部には、まだ聞く姿勢が整っていない成長過程にある生徒もいる。4学年になると人の話を自分の成長に繋げようという姿が見られる。特に4学年特活時に、卒業生から話をしてもらう機会を設けると、その話によく耳を傾け、自分の進路選択の参考として捉えている姿が、印象に残っている。

3rd ステージ

1) 結果

評価		
重点目標	自立の精神をもった、人間性豊かな生徒を育てる。	3.5
評価項目①	学習意欲の向上を図り、基礎学力を定着させるとともに探求する力を養い、個に応じた進路実現をサポートする。	4
評価項目②	学校行事、部活動等において上級生としてのリーダーシップを發揮させ、グローバル化していく未来を生きる力を育てる。	4
評価項目③	時間厳守、挨拶、HBの整理整頓等、基本的な生活習慣を確立させ、社会で自立して活動していくために必要な資質を身につけさせる。	3
評価項目④	集団生活の中で規律ある態度を養い、誠実で思いやりのある人間性を育てる。	3

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	大きく変化していくこれからの中を主体的にたくましく生き抜くために、豊かな心で自ら学び、考え、判断し問題を解決していく力を身につけられるよう様々な指導方法で指導してきた。
評価項目①	5学年部では将来の進路実現に向けて、日々の授業の大切さを再認識させ、授業に真剣に取り組む姿勢を身につけさせた。2学期には、様々な進路ガイダンスを実施し、大学入試の現状と課題について指導した。 6学年部では、推薦入試方式を利用する生徒が昨年同様多く、その対応として他学年の先生の協力も得て、個々に応じた指導をした。一般受験では生徒一人一人の受験プランに対し、適切な情報の収集・分析に努め、また学年全員で共有した。
評価項目②	学校行事・部活動などを通じて、チームワークの大切さ・共通の目的に向かうことの大切さ・学年に応じて求められる役割を果たす対応力などを身につけさせた。 特に5学年部では、1学期の研修旅行において様々なことを学ぶ機会を与えることができた。
評価項目③	学年部スタッフの工夫と積極的な関わりで、時間厳守、挨拶、整理整頓等、当たり前のことを当たり前のように行う基本的な生活習慣を身につけさせようとしたが、時間厳守や約束に対する意識が乏しい生徒が見受けられた。 特に6学年部は、2学期になり遅刻生徒の増加が見受けられた。
評価項目④	特活・HR等において、ルールを守り、互いに認め合い、人の嫌がることをしない、相手の立場になって物事を考える「思いやりの心」を育てようとし、多くの生徒が人として成長できた。

② 各教科の重点目標

国語科

1) 結果

重点目標	評価
重点目標 教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。	3.7
評価項目① 適切な課題と適時な小テストを利用して、知識の定着と自学自習の促進を図る。	4
評価項目② 教科エリア型校舎の特性を生かし、専門性の高い授業を確立させる。	3
評価項目③ 授業や課題、ICT情報の共有を推進し、授業展開の充実化を図る。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の 総括	中学・高校ともに、週末ごとに課題を課し、自学自習の習慣の確立、自律の精神の涵養を図った。また、生徒の学力に相応したテキストを課した。提出状況が悪い生徒に対しては各教員が地道に指導し、提出を促した。
評価項目①	中学、高校それぞれに本校の生徒の進度を考慮したオリジナル教材の「のぞみ」（中学全員）、「パワーアップテキスト」（高校1・2年生）を配布し、それを定期的にチェックすることで家庭学習を定着させる一助とした。また、中学では漢字、高校では、漢字、単語、文法の小テストを適宜実施し、基礎力の定着を図った。
評価項目②	全教科教室に教科オリジナルのポスター（難読語、文学史等）を掲示し、語彙や知識の涵養を図った。
評価項目③	授業におけるプリント教材やプロジェクター教材を共有し、授業・教科業務の効率化が前進した。さらに、新課程共通テストに向けての指導内容の検討を深めていきたい。

社会科（地理・歴史／公民）

1) 結果

重点目標	評価
重点目標 教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。	3.7
評価項目① 地理・歴史・公民の学習を通じて、基礎的な知識や技術の定着を図るとともに社会的事象への関心を喚起する。	4
評価項目② 生徒が主体的対話的に深く学ぶことができる授業を展開し、社会的事象に関して、多面的・多角的に課題を把握させ、解決に向けて考察をさせる。	3
評価項目③ ICT教育の推進を引き続き図ると共に、教科研究の充実と情報の共有化、積極的な情報発信を図る。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	生徒用タブレットの活用、新しいプロジェクターの効果的な利用を図り、各教員が視聴覚に訴える方式を取り入れつつ授業に取り組んでいる。また、メディアの充実にも力を入れており、社会科の各教科における共通テストの概観を生徒が手に取り、見ができるようにする等の環境を整えた。今年度は2学期より移動教室が再開されたため、生徒に社会科メディアを見てもらう機会が増えた。今後も、より興味・関心をそそる環境を整備していきたい。
評価項目①	各教員が各種研修会に出向き、研鑽をつむなど、授業力の向上に努めている。また、社会科では、全教員がプロジェクターの活用を通じて、生徒へ学習内容の事物・人物・できごとなどを視覚的に印象付け、授業への強い関心を引き出すことができた。
評価項目②	今年度も引き続き、アクティブラーニングに取り組みづらい状況ではあったが、各科目や単元に応じて、できる範囲で協働的な学習を行うことができた。昨年度までの経験もあり、ロイロノートを活用し、長い期間出席停止になってしまった生徒等に対し課題を提供することも概ねできた。
評価項目③	社会科では各教員が積極的に教材研究に励み、また、各科目ごとに授業をリードする教員を定め、授業で用いるパワーポイント教材を共有したり、共通の小テストを行ったりするなど、各クラスで教材等の共有をすることができたため、質の高い授業を開拓できた。教科メディアを使っての「企画展」も充実させていきたい。

数学科

1) 結果

評価	
重点目標	教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。
評価項目①	課題や小テストを利用してスパイラル学習を定着させ、知識および表現力を身につける。
評価項目②	オンラインを課題提出などに利用し、家庭学習習慣や知識の定着を図る。
評価項目③	クラスやコースの違いを踏まえた授業を展開する。

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	中学においては、週末ごとに宿題を実施して自学自習の習慣を身につけ、自由課題用の問題集を与えて、自主的に学習することにより自立の精神を養った。 高校においては、教科書準拠の問題集以外に、課題プリントを与えたり、参考書を紹介して、自主自立の精神を養った。
評価項目①	中学では、業者テストの事前準備として課題冊子を与え、同じ単元の問題を繰り返して解けるようにした。また、自分自身で答え合わせをして正誤をつけさせ、間違えた問題は反復してやり直すように指導した。 高校では、教科書準拠の問題集や復習プリントを利用し、反復学習を心がけた。

評価項目②	中学では、毎週末や長期休暇前に課題を与え、計算力や数学的基礎知識を身につけさせた。課題の未提出者が多く、それらの生徒に対しては、様々な指導を実施し、平常点にも反映させたが、顕著な成果は見られなかった。 高校では、必要に応じて課題を与えたり、小テストを実施して、基礎力定着を図った。
評価項目③	1stステージでは進学クラスと難関進学クラスの授業進度は同じにしたが、授業での扱う問題に難易度の差をつけて指導した。特にアドバンスクラスでは、プリント学習を増やし、応用力を養った。高校では、模擬試験で結果を出すことを意識して演習問題の量や質でコースにあった指導を行った。

理科

1) 結果

		評価
重点目標	教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。	3.3
評価項目①	教科エリア型校舎の特性を生かし、専門性の高い授業の確立を図る。	4
評価項目②	教材・器具・理科消耗品の充実を図り、観察・実験が滞りなく実施できるようはたらきかける。	3
評価項目③	公的機関・大学・企業等の出張授業や公開講座を研究調査し、生徒向け発信を充実させる。	3

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の 総括	コロナ禍のため少数ではあるが、昼休み・放課後には生徒が教科研究室や教科メディアセンターに訪れ、生徒と教員の「理科」を通したコミュニケーションの場となっている。今年度も年度前半はコロナ禍で教科エリア型校舎の特長が生かされたとは言い難い。年度後半にかけて教科エリア型運用が開始されかつての賑わいが戻りつつあった。
評価項目①	各教員が工夫して専門性の高い授業を実践している他、教員間の連携を図り、教科としての取り組みができた。感染防止対策を行いながらも、高校生を中心に実験室を利用し、実験観察実習ができたのは大きい。また、中学生では同時期、昨年以上にグループワークが充実できた。
評価項目②	昨年度とほぼ同じ内容を記載する。物品購入に時間がかかることが課題である。少額消耗品であっても、業者との連絡・見積書の作成依頼・校内での書類の通過・納入までの一連の過程にかなり時間がかかり、フットワークが重くなっている。2代前の教科主任から主張していた通り、少額消耗品は教科の裁量で即購入できる仕組みをお願いしたい。今年度は昨年度以上に、実験観察が、コロナ禍のなか、感染防止対策をしつつ実施できた。
評価項目③	前年度・前々年度の反省を生かし発信する予定であったが、コロナ禍で公開講座はほとんど中止またはオンラインになり、同様の紹介にとどまった。年度末に、実験講座の紹介をする予定である。

英語科

1) 結果

		評価
重点目標	教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。	3.7
評価項目①	英語コミュニケーション能力・姿勢を習得させるため、4技能を意識した授業の確立を図る。	4
評価項目②	課題や小テストを利用して、知識の定着を図る。オンライン発信を有効に使う。	4
評価項目③	ICT教育やオンライン授業を充実させるため、教材、資料、情報の共有化を図る。また、タブレット(BYOD)の有効活用を研究する。	3

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	共通テストの内容を意識しながら、生徒たちに実用的な英語を習得させるように取り組んでいく。4技能を踏まえた受験英語と実用英語の指導が円滑に進みつつある。
評価項目①	デジタル教科書の使用が始まり、ICT教育と4技能（読む、書く、話す、聞く）を取り入れる工夫をさらに向上させた。英語に慣れさせ、実践的な英語力を身につけることができるよう指導している。本校は私学であり受験を意識しながら授業を展開した。徐々にではあるが成果が出てきている。
評価項目②	火曜日のHR単語テストが定着し、今後より活性化するように教科全体で取り組んでいく。中学では日頃より、授業内においてかなりの頻度で小テストを実施している。ロイロノートやスタディサプリを用いた課題の発信にも生徒は熱心に取り組んでいる。
評価項目③	資料や情報の共有は年々向上している。しかし、教科内でより利用しやすい環境を整えることが必要であり、今後も周知徹底を図っていく。

保健体育科

1) 結果

		評価
重点目標	教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。	3.7
評価項目①	課題や小テストを利用して、知識・技能の定着を図る。	3
評価項目②	健康や安全を考え、正しい判断の下、行動の選択ができるようにする。	4
評価項目③	集団的行動や身体表現を通して、コミュニケーション能力を育成する。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	コロナの感染状況によって実施内容を考慮しながらであったが、ほぼ予定通りの種目の授業を実施することができた。しかし、授業時間は確保できたもののコロナ禍になってから各自の運動時間が減り、体力の低下が顕著にみられた。 また、タブレットを利用した体育実技の授業も取り入れ始めている。
評価項目①	体育では、反復練習の中でチーム内で教え合うなどのグループ学習を通して、また保健では、プリント課題や小テストの実施、定期テストの振り返り授業などで知識や技能の定着を図った。
評価項目②	保健の授業にて、身体のつくりや健康問題・応急処置などを学んでいる。けがや事故が起こらないような行動をとることはもちろんのこと、緊急時の対応にも取り組んだ。
評価項目③	実技の練習やゲームの進行、ダンスの作品作りなど、グループ学習によって意欲が高まり自主性や積極性が増した。体育祭は、重要なコミュニケーションの機会となった。

芸術科

1) 結果

重点目標	評価
教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。	3.7
ICT機器を活用しながら専門性の高い授業を展開する。課題などをオンライン配信し主体的な学びを促す。	4
各教科の基礎的な能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、表現力と技術力の向上を図る。	3
音楽、美術、書道、3教科の連携を深め、教科の枠組みを越えた広い視野での活動を意識する。芸術文化を愛好する心を育て、豊かな情操を養う。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	メディアには生徒の制作した作品やレポートを常に展示し、お互いの感性を認め合い芸術への興味関心を引き出すことができた。より主体的に演奏活動や制作活動ができるよう、ICTを活用しながら授業展開を工夫することができた。
評価項目①	デジタル教科書や映像資料などのデジタル教材を多用し、専門的な深い学びにつなげることができた。ロイロノートを活用しあらかじめ音源や制作見本を送ることで、授業で専門的な指導をする時間を確保できた。
評価項目②	感染対策に留意しながら、昨年度よりも実技の時間をとることができた。音楽では合唱への取り組みを通して、仲間と歌い合わせることの喜びを感じ、美しいハーモニーを味わうということを体験させることができた。
評価項目③	年度末に3教科合同で成果発表会を行い、音楽ではアンサンブルの演奏発表、美術と書道では制作発表をして自分を表現し様々な芸術に親しむことができた。

家庭科

1) 結果

		評価
重点目標	教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。	3.7
評価項目①	オンラインを課題提出に利用したり、小テストを利用して、知識の定着を図る。	3
評価項目②	メディアセンターや展示コーナー及び教科教室の充実を図る。	4
評価項目③	実習授業の持ち物をオンラインで配信することで忘れ物をなくす手立てとする。実習を通して、達成感を味わえる指導をし、創意工夫能力や生活力を身につける。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	意欲的に楽しく授業に臨んでいる姿勢を感じられたことは、自律の精神が育つ上において役立っていると思われる。調理実習などは男女混合班のためお互いが教えあいながら仲良く協力して作業を進め、作業の遅い生徒への気遣いが生徒間で上手にできるようになった。
評価項目①	課題については、高校生は100%の提出。中学生は登校していない生徒が若干名いるため100%とはいかなかった。繰り返し教えることに力を入れ、小テストをすることで疑問や結果を理解、把握することができた。
評価項目②	中学生・高校生両方の授業での製作した作品を展示した。また、特活自由研究での1stステージ・2ndステージの生徒の優秀作品を展示するなど、充実させることができた。
評価項目③	高校生は実習で学んだことを基に、家庭で創意工夫して実践する生徒が多くなった。中学生は創意工夫まで到達しなくとも、自分の歴史を振り返り、家族が深い愛情で支えてくれていることが理解でき、手伝いや親子のコミュニケーションが増えてきた。

探究科

1) 結果

		評価
重点目標	教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。	3.3
評価項目①	授業に思考ツール・対話的手法を積極的に取り入れ、探究活動の6つのステップ「興味関心⇒課題設定⇒情報収集⇒整理分析⇒まとめ表現⇒振り返り」の方法と技術を定着させる。	3
評価項目②	実社会や世界で起きている問題に目を向ける機会をつくり、生徒の中に社会参画の意識を醸造し、今後の地域連携や主体的な進路決定のベースをつくる。	4
評価項目③	図書館、情報科、学年など他部署と積極的に連携し、学校の学習環境の利用を促進するとともに、生徒が持っている知識を活用できる多様な場面を創出する。	3

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	図書館との連携で講堂ロビー（春のみ）、視聴覚室、図書館内を使用したグループワークを行った。図書館はラーニングコモンズ化の中途であることから現状、空調管理のできる平らで広い空間がない。今年度は代替として対話型学習にホームベースを活用する工夫を行い柔軟性を持って取り組んだ。年間を通して本校の学習空間を最大限に活かしたグループワークを実施し、主体的で自律的な学習を促すことができた。
評価項目①	探究の技術と方法の理論を1学期に学び、対話促進ツールや他クラスとの合同授業を儲ける中で、一つ一つの探究のプロセスを丁寧に取り組ませることができた。来年度以降、他クラス合同授業が継続できない可能性もあるのは課題となっている。
評価項目②	1・2学期ともに社会課題（地域から世界まで）をテーマに、思考ツールの活用やグループ学習を行った。また2学期は特に「仕事」をテーマにしてステークホルダーと社会参画への意識を醸造した。
評価項目③	1学期の図書館連携の中で図書館の使用方法（日本十進分類法・ラベルの読み方・書籍検索の方法など）を学ぶことができた。これより学校の学習環境の利用・自走学習を促進できたと思われる。来年の探究に向け、他部署との連携も進めていきたい。

③ 各部署の重点目標

生徒指導部

1) 結果

重点目標	評価
ルールやマナーを守らせ、よりよい学校生活を送れるように指導・支援する。	4.0
評価項目① 「いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめ防止教育を強力に展開する。特にSNSに絡むいじめが多くなっているが、SNSの利用の仕方なども講演会などで注意喚起していく。	5
評価項目② 校内外においてきちんとした制服の着こなしをさせる。	4
評価項目③ 校内での携帯電話の使用は禁止しているが、校外においても「歩きスマホ」は厳禁であることを徹底させる。	3
評価項目④ インターネットにおける正しい利用ができるように指導・支援する。	4
評価項目⑤ 生徒会や委員会の自発的・自主的活動を支援する。	4
評価項目⑥ 校内の清掃や整美を徹底させる。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	ルールを守ることの大切さを、普段から道徳やHRなどを通じて話しているが、生徒たちは校則などよく守ってくれている。携帯電話の使用や登下校時の歩き方のマナーなど近隣から注意を受けることもあり、今後、より一層のマナー教育を充実させたい。
評価項目①	定期的に「いじめ防止対策会議」を開き、学校全体の“いじめ防止”に努めてきた。“いじめ”と認識される事案は例年数件発生するが、今年度も初期の段階で縦・横の連絡を密にして対応したため、重大事項に発展することには至らなかった。
評価項目②	道徳等で“校内外でのきちんとした身だしなみ”について生徒たちに理解を求めた。定期的に風紀指導も実施したが、大部分の生徒たちはよく守っていた。ただ、最近、女子のスカート丈が短い、男子の髪の長さが長くなっているなど本来であれば違反=切符で指導できたことも、ブラック校則などの問題もあり、なかなか強く指導しきれていない場面も出てきているのも事実である。校則に関しては、私立とはいえ、本校でも今後一部改定していかなければならない項目もあるので、生徒指導部としても検討していきたい。
評価項目③	歩きスマホによる事故も多発しているため、生徒たちにその危険性について話をすると共に、前年度よりキップ指導の対象とし、校外指導も行った。携帯電話の校内の使用については、大部分の生徒はよくルールを守っているが、懲戒指導を受けた生徒もいた。今年度は、3学期から中1もタブレットの使用を開始し、中全がタブレットを使用するようになった。大部分の生徒は正しい使い方をしているが、やはりスマホ同様にゲームなど禁止事項の使用で生徒指導になってしまった生徒も出たのが残念である。
評価項目④	LINE等で友人の悪口を書き込み、生徒指導を受けた生徒もいたが、下級生ほどその危険性など理解できず、軽率に使用してしまうようであった。1学期に1st・2ndステージには専門業者を呼び、正しい利用の仕方を講演していただいた。

評価項目⑤	<p>学校行事では生徒たちが中心となって活動する場面が増えた。コロナ禍ではあったが今年度の体育祭は午前を中全、午後を高校と分けて実施したが、出番が早く回ってくることもあり、生徒たちはいつもより緊張感をもって参加できたように思われる。</p> <p>また保護者にとっても自分の子供の出番が早く回ってくることは時間短縮でかえって好評であった。ただ特に下級生は先輩たちの迫力ある学年種目を見ることができなかったのは残念であった。また、兄弟・姉妹で在籍させている保護者にとっては、長い一日であったと思われる。</p> <p>光華祭においては、今年度は感染対策に十分気をつけて、例年に近い形で実施したが、生徒会を中心に本当によく考えられた素晴らしいものができたと感じた。特に、後夜祭は近年では本校生徒の最大の楽しみの一つに成長したが、これも生徒会の生徒を中心に、多くの先生方の参加も含め協力してくれたおかげだと思われる。</p>
評価項目⑥	<p>生徒たちは毎日の清掃をしっかりと行っている。学期末や学校説明会前の定期的な大掃除でも、生徒たちは一生懸命、掃除をしてくれた。昼食時に黙食するなど、生徒たちはコロナ対策にも協力してくれた。</p>

学習進路指導部

1) 結果

重点目標	評価
教科エリア型校舎の特長を生かし、「学びから入る進路指導」を実践する。	4.0
評価項目① 【将来を見通した資質・能力の育成】 新しい学習指導要領の主旨を踏まえ、21世紀型教育推進委員会とも連携して、思考力・判断力・表現力を育てる施策を実行する。特に、「主体的・対話的で深い学び」については、同委員会をはじめ、探究科・特活LHR科やその他の各教科、教務部と連携して、体系的な整備を推進する。	5
評価項目② 【きめ細やかな学習指導、進路指導】 生徒の進路意識を調査、把握して、生徒一人ひとりが進路意識を高めるよう、教育相談や三者面談の機能のいっそうの充実を図る。また、図書館活性化の取り組みと併せて、補習・補講体制のいっそうの充実を図り、きめ細やかな学習指導を行う。学年・学級経営と連携して、Gyro手帳・ファイルを活用したきめ細やかな指導を通じて、生徒の自学自習の学習習慣の定着を図る。	4
評価項目③ 【時機に応じた学習進路指導計画の立案・実行】 各学年の段階に応じた学習進路指導計画を立案し、進路意識を啓発する行事・諸活動を通じて、生徒一人ひとりが自己を高める進路目標をもち、積極的な行動をするよう働きかける。なお、行事・諸活動においては、コロナ禍による影響を最小限に止めることができるよう必要な措置を講じる。	4
評価項目④ 【難関大学合格実績の向上】 いわゆる新課程入試を視野に入れ、引き続き、各教科の学習指導を支援する。また、大学受験に向けた学習・生活態度を涵養するとともに、キャリア教育や難関大を目指す生徒を支援するプログラムのいっそうの充実を図る。 高校の特別講座については、引き続き活性化を図り、難関大合格を目指す生徒を支援していく。図書館活性化の取り組みと併せて、発展的な学習を支援する体制のいっそうの充実を図る。	4

評価項目⑤	<p>【さまざまな進路希望への対応の充実】</p> <p>大学進学以外の進路希望分野（看護・医療技術系専門学校進学希望者、その他の分野の専門学校進学希望者および就職希望者）について、適切な情報を提供する機会を設ける。また、海外大学への進学指導について、21世紀型教育推進委員会とも連携しながら情報提供を行う。このほか、鶴見大学やその他の大学等と連携し、出張講義などの学びの機会拡充を図る。</p>	3
評価項目⑥	<p>【教科指導力、進路指導力の向上】</p> <p>教科指導力・進路指導力の向上を図る施策をよりいっそう充実させる。校内では、模試分析会その他の研修機会を生かし、各教科・各ステージ・各学年部、校内各部署との連携を図る。また、学習進路指導部の各教員が部内の業務を共有し、円滑な業務の進行を図ることができるよう努める。</p> <p>コロナ禍によりICT教育および大学入試におけるICT活用の状況が大きく変化したことを踏まえて、教員研修委員会やICT教育研究グループとも連携して、校内研修のいっそうの充実を図るとともに、必要な情報を生徒に提供する。</p>	4
評価項目⑦	<p>【保護者との協働による学習進路指導の充実】</p> <p>保護者に近年の入試動向を理解していただく機会を設けるとともに、適宜情報を提供、共有し、協働して生徒を支援する体制を構築する。</p>	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	<p>教育政策の動向を踏まえて、学習指導部、進路指導部とともに指導内容の充実を図ってきた。具体的には、三位一体の教育改革への対応、中学校・高等学校新学習指導要領への移行とそれに伴う各種帳票の改訂などの諸課題について、各教科・教員研修委員会・21世紀型教育推進委員会、その他の校内各部署と連携して取り組んだ。図書部では、図書館活性化を主題にして、図書館の愛称を全校生徒に募集して「T C S R（トクスル）」に決定し、また、事務部や鶴見大学図書館とも連携して、放課後学習支援態勢の強化、英語科の洋書多読支援、P O P コンテストへの参加などで成果を上げることができた。</p> <p>教員研修委員会との連携では、オンライン研修会・セミナー等に多くの教職員が参加することができた。その結果、教育改革の動向、「主体性・多様性・協働性」を育むことを目指す国の施策、「観点別評価の導入（中学校・高校）」「主体的・対話的で深い学び」などについて教職員の理解と実践が大きく前進している。</p> <p>各学年部との連携では、Gyro手帳（能率手帳スコラ）による学習習慣定着への働きかけを継続することができた。また、数年来、チーム学校による学習指導力・進路指導力の向上に努めてきたが、スタッフとの連携を順調に展開することができた。</p> <p>一方、コロナ禍が続く中、引き続き、ウェブ活用等による生徒・保護者・教職員間の情報共有のいっそうの充実を図っていく必要がある。特に、タブレットを用いた授業は、来年度より中学1年から高校1年で展開することになる。活用方法の探求が引き続き必要である。さらに、グローバル教育セミナーや出張講義等については、今年度も再開の目途が立っていない。次年度に向けてできる限りの対応を検討していきたい。</p>	
評価項目①	<p>【将来を見通した資質・能力の育成】</p> <p>21世紀型教育推進委員会などの関係各部署、各教科との連携により、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を育む施策や「主体的・対話的で深い学び」の実行に向けて、教職員の理解と実践が着実に前進している。</p>	

評価項目②	<p>【きめ細やかな学習指導、進路指導】</p> <p>チーム学校による学習指導力、進路指導力の向上に努めた。具体的には、教員と教育相談支援員・学習支援員・ICT支援員、及び事務部が分業・協業し、「チーム鶴見大学附属」としての態勢がよく機能した。また、図書館活性化の取り組みと連携して補習・補講体制のいっそうの充実を図り、学年・学級経営と連携してGyro手帳（能率手帳スコラ）・ファイルを活用したきめ細やかな指導を実践することができた。</p>
評価項目③	<p>【時機に応じた学習進路指導計画の立案・実行】</p> <p>各教科・各学年部との協働により、校内模試を滞りなく進行するとともに、年間指導計画に基づいた見通し・振り返り学習活動や発展的な学習指導の拡充を図ることができた。また、Gyro手帳（能率手帳スコラ）による学習習慣定着への働きかけを継続するとともに、高校各学年部の学年・学級経営と連携して、ポートフォリオノートを活用し、生徒の見通し・振り返り活動のいっそうの充実を図ることができた。</p>
評価項目④	<p>【難関大学合格実績の向上】</p> <p>三位一体の教育改革、大学入試における定員管理厳格化、コロナ禍、少子化のいっそうの進展などによって、大学入試を巡る環境が大きく変化しているなか、部署として常に最新の情報を収集することに努め、教職員・生徒・保護者に適切に情報提供を行うことができた。次年度以降も引き続き、図書館活性化の取り組みと連携した発展的な学習を支援する体制作り、日ごろの教科学習、講習・講座や模試分析会などの授業改善・向上への取り組み、予備校・塾との連携強化による情報提供、施策立案・実行力の向上に努めていきたい。</p>
評価項目⑤	<p>【さまざまな進路希望への対応の充実】</p> <p>三松幼稚園・總持寺保育園体験学習、鶴見大学図書館司書体験学習、鶴見大学歯学部附属病院見学会、及び外部機関での看護体験学習等を通じて、専門職従事者に求められる資質や素養を育む働きかけを行うことができた。グローバル教育セミナーや出張講義等については、今後、どのような施策ができるか、引き続き検討していきたい。</p>
評価項目⑥	<p>【教科指導力、進路指導力の向上】</p> <p>従来から取り組んできたGyro 手帳・ファイルの活用に加えて、2学年部・3学年部では4月当初より、1学年部は1月よりBYODによるタブレットを用いた授業を展開し、学習指導、進路指導の向上に努めている。</p> <p>1st・2ndステージでは、Gyro ファイルなどによる学習習慣の定着に向けた活動、指名制補習、3rdステージでは難関大受験指導等の取り組みで、成果を上げることができた。なお、ここ数年で、学期末補講・特別補講・指名制補習などの制度構築が進展したが、日々の補習・補講に取り組みやすい環境作りに向けて課題を残している。</p>
評価項目⑦	<p>【保護者との協働による学習進路指導の充実】</p> <p>コロナ禍により、ICT活用により情報提供に努めた結果、生徒や保護者との情報共有を図ることができた。</p>

入試広報部

1) 結果

		評価
重点目標	中学入試・高校入試とともに募集定員を確保する。	4.5
評価項目①	将来の6カ年一貫化を見すえ、中学募集の強化を図る。	4
評価項目②	ホームページを充実させる。	4
評価項目③	募集特に学習塾訪問活動の充実、強化を図る。	5
評価項目④	校内外で開催される諸入試イベントの充実、強化を図る。	5
評価項目⑤	情報の有効な発信を図る。	4
評価項目⑥	他の関係部署との充分な連携を図る。	5

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	校外の相談会の多くが一部を除き再開、校内開催の説明会・体験イベント及び模擬試験（四谷大塚・首都圏模試など）、光華祭等の公開行事、募集活動も4月当初より開始し、予定通りすべて開催することができ、中学・高校入試とともに昨年を上回る動員数を達成することができた。結果として中学・高校入試とともに応募者数・受験者数を増加させることはできた。ただし、今後予想される生徒減に対応すべく、受験者数・入学者数を安定的に確保するには、学校全体として相当の努力と改革の継続、その効果的な発信が求められよう。
評価項目①	現在進行中の教育活動のねらいと取り組みを再整理し、生徒がいかに学び、いかにその学びを発展させていくか、受験生・保護者がイメージできるような展開を、特に中学入試説明会や塾開催説明会などで試み、次年度学校案内でも具現化しつつある。ただし、近年に受験界で注目を集めている私学に比べて、目新しさとインパクトには欠けているものと思われる。
評価項目②	ホームページで情報の更新頻度の増加と内容充実につとめた。また、インスタグラムやLINEなどSNSを加えて、教育活動やコロナ対応等の最新情報、受験生への応援メッセージやウェブ説明会等、的確かつタイムリーな情報発信ができた。また、在校生・保護者への情報も適宜配信することができた。
評価項目③	学習塾への訪問活動は4月当初より開始、日能研・啓進塾などの出張説明会に加えて、サピックス・トライ・ユリウスなど大手塾主催のオンラインでの企画に数多く参加、特に近隣大手塾からの多くの受験生の獲得につながった。
評価項目④	外部開催の相談会・イベントの多くが再開し、校内開催の模試とともに、幅広く本校を告知するまでの貴重な機会となった。校内開催の説明会も4月以降に予定通り開催、中学・高校入試ともに受験者数の増加につながった。
評価項目⑤	中学校回りを入試相談と合わせて計3回実施、各中学校との情報交換を継続し、募集上の変更点・コロナ対応等を的確に伝えることができた。
評価項目⑥	募集活動、入試業務全般において、特に新たな出願システムの導入に際して、教務・事務をはじめとする関連部署とは、ほぼ円滑な連携をはかることができた。

教務部

1) 結果

重点目標	評価
重点目標 新しい生活様式を踏まえ、教科エリア型校舎の新機能を最大限に活用し、教育の更なる充実を図る。	3.8
評価項目① (統括)新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、常に全体を意識して安心・安全な学校運営が図れるように関係各部署と連携しながら業務を行う。	4
評価項目② (運営)引き続き、新型コロナウイルスの状況の変化を注視しつつ、年間計画および各行事等を、各部署との調整を図りながら円滑に運営する。	3
評価項目③ (文書)定期テスト・各種模擬試験等を円滑に実施する。天候・交通の影響による遅延等や不測の事態においても適切に対応できるよう各部署と連携を図る。	3
評価項目④ (統計)学校内の情報を正確に処理し、その把握に努め、各部署との連携を図る。	4
評価項目⑤ (情報管理)今年度から高校の指導要録が改訂される。そのため、新たに生じる業務があるので、作業が滞らないように対応していく。	4
評価項目⑥ (体験研修交流事業)アフターコロナを見据え、国内外の情報を収集し、安全面を精査しながら、企画の再検討を図る。	4
評価項目⑦ (修徳)建学の精神をふまえ、日々朝晩の黙念を大切にし、常に自己と向き合い正しく自己理解に努め、他者への感謝と思いやりの心を忘れず、何事にも目標・計画・熱意をもって、一生懸命に取り組む。「一点になり切れ」である。	4
評価項目⑧ (文化事業)図書館の環境整備と活性化、蔵書活用を充実させ、生徒が自主的に利用できる学習環境の提供を図る。また、文化的にも教養を深められるよう、芸術鑑賞会の企画実施に努める。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の 総括	コロナ禍の中、部署ごとに連絡を密に取り、工夫出来るところは行い、円滑に教務関係の業務を遂行できた。また、教科エリア型校舎での移動教室の再開や、宿泊行事を含めた学校行事もほぼ予定通り実施することができ、コロナ禍前の学校生活が戻りつつある。次年度もコロナウイルス感染症が収束するとは思われず、引き続き一層の工夫と業務の見直しを行い、生徒の安心安全を第一に考えた学校運営が出来るようにしていきたい。
評価項目①	コロナ禍の中、各部署や教職員の意見を参考にした上で、工夫を重ね、概ね支障なく業務内容を円滑に遂行できたと思われる。内規の点検・見直し作業も最終段階に入り、発行することが出来た内規集もある。また、新たな学習成績処理システムを導入したが、指導要録及び調査書の発行などの移行も概ね予定通り進んだ。次年度も、部署毎に業務の確認と連絡体制の徹底をしていきたい。
評価項目②	コロナの感染動向を見て、他部署との調整を緊密にとり、昨年に続き、平素とは異なる形式・方法で行事を実施した。複数名で業務を行い、組織として円滑に所管業務を遂行することができた。

評価項目③	定期テスト等について、交通機関の遅延に対しての処置を含めて滞りなく実施することができた。一部の学年・教科の60分試験における変則的な時間割もスムーズに実施できている。今後もトラブルのないように細心の注意を払い、円滑に試験を進行していきたい。
評価項目④	各種学校調査に関しては事務の方々や部員の協力もあり、滞りなくできた。入試作業は高校入試、中学入試共に多少のトラブルがあった。入試の前段階から準備が複雑で大変であった。今後は準備を簡素化すると共に、他の部署と連絡を密にとって、業務をスムーズに遂行していきたい。
評価項目⑤	2023年の年始より、大規模なプログラム更新が入り、それによるシステムや帳票の変更が起きた。また、以前あったプログラムを保守業者と打ち合わせをするなど、カスタマイズに関する突発的な業務が入ったが、例年の作業に大きな影響が出ることなく進めることができた。また、普段使用していないところのシステムについても細かい変更が多く入ったので、部内で情報を共有して、誰が対応に迫られても問題なく対応できるように情報を伝えていきたい。
評価項目⑥	これまでコロナ禍に於いて滞っていた、遠足やイングリッシュキャンプ、国内の研修旅行、オーストラリアのターム留学を実施することができた。引き続き、来年度は短期語学研修旅行、インバウンドの学校交流等について、企画・実施の準備を進めていきたい。
評価項目⑦	黙念で始まり黙念で終わる本校の学校生活において、日常生活ではなかなか設けることの出来ない厳肅・静寂な朝礼の時間を、自己理解の時間として大切に過ごしていた。黙念で心を落ち着け、今日の自分と向き合い集中力を高め、前向きな姿勢で授業に向かうことが出来ていた。
評価項目⑧	講堂利用のさらなる活性化が進み、三密に配慮した学年活動・学習場所の提供が出来たといえる。芸術鑑賞会は綿密なる準備の上、中・高の2部構成で実施でき、アンケート結果については大変好評であった。保護者の鑑賞希望についても検討したい。「鶴の林」の内容についても、さらなる充実に努めたい。

事務部

1) 結果

重点目標	評価
業務の基本を再点検・確認し思い込み等によるミスを防止し、対内外より信頼される事務部となるよう努める。	4.0
評価項目① 少ない人員のため校務の内容によって人数的に厳しい状況もあるが、他の部署に協力を要請するなどの連携を図り、滞ることのないよう努める。	4
評価項目② 窓口対応や電話応対において、生徒・保護者・外来者に対して明るく丁寧に好印象を与えるような接遇に努める。	5
評価項目③ 每年予定されている学校行事や、事前にわかっている校務等の準備・チェックを早めに行い、余裕をもって見落としのないよう対応する。	4
評価項目④ 必要に応じて事務部内にて報告・連絡・相談を励行し、円滑な業務進行を目指す。	4

評価項目⑤	経理システム（キャンパスプラン・給与システム・預り金）等の補助ツールを作成し、正確性および処理速度の向上に努める。	3
評価項目⑥	昨年度導入した蔵書検索システムの有用性を伝え、広く利活用されるよう努める。また、このサービスの提供終了後の、図書館システム構築を検討する。	4
評価項目⑦	探究科をはじめ各教科と連携し、図書館活用の充実に注力し、それを足掛かりに利用者数・貸出し数の増加を目指す。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	事務職員は少人数体制で勤務しているため、人員不足により十分なチェック作業が滞留した点もあったが、庶務においては、重要な校務は2人体制で担当し確認作業を必ず行った。入試においては統計、進行、管理職と随時連絡を取り合って、情報共有を密とすることことができた。電話対応においても、誰が受信しても事務部内ですぐに共有できるようにしている。
評価項目①	事務室や経理室にて職員が手薄な状況においては、双方が協力してカバーすることで対応ができた。朝の外部からの電話対応においては、引き続き経理、図書の職員にも協力を得て、事務職員全員の勤務時間が公平に保てるよう務めた。
評価項目②	電話対応ではコールがあってから待たせることなく直ぐに受話器を取り、明るくはつきりとした口調で対応するよう心掛けた。窓口対応においても、相手に不安感を与える笑顔でゆっくり丁寧に説明をしている。その甲斐もあって、保護者の方から対応についてお褒めの言葉をいただけたこともあった。
評価項目③	年間行事予定に組み込まれている説明会や外部フェアの資料作りや、施設備品等の準備が期日に間に合うよう作業できた。体育祭や文化祭でも使用する施設・備品等のチェックを事前に行い、当日スムーズに実行できるよう手配した。
評価項目④	新たに導入されたWeb出願による出願方法に伴う作業の手順をe-スクールやプリントにて発信した。また、12月には事務職員全員が集合し、実際の出願画面を見ながらのシミュレーション説明を行い、誰でも作業できるよう周知することができた。
評価項目⑤	令和4年分より、給与システムの更新を行ったことから運用の変更が生じたこと、また経理システム（キャンパスプラン）では転入生の処理が初めてのケースだったため大変苦慮した。現状維持を優先したため補助ツールの作成ができなかった。この教訓を活かしスムーズに業務が遂行できるよう来年度に向けて準備をしていきたい。
評価項目⑥	蔵書検索システムを利用して本を探しに来る生徒が多くなり、上々のスタートとなった。レファレンス方法も幅が広がり、場面に即した案内の提供ができるようになった。図書館システム導入に関しては、委託業者決定後でないと補助金の申請が難しく、足踏みの一年となってしまった。今後の展開について見直しも必要である。
評価項目⑦	探究科をはじめ、授業での図書館利用回数が増えた一年であり、多くの生徒に図書館の本に触れる機会を作ることができた。また、先生方のおすすめ本コーナーや英語科での出張図書館への生徒の反応も良く、手応えを感じている。これからも各部署と連携し、利用者数・貸出し数の増加に努めたい。

管理部門

1) 結果

重点目標	評価
施策の体系を新型コロナウイルス感染症対策等の危機管理も含めて再構築し、関係部署と連携を図りながら、計画的かつ確実に実行できるよう努める。	4.0
評価項目① 国の教育改革・教育行政の動向を踏まえながら、創立100周年に向けて、さらには2030年・2040年に向けて、中・長期の事業計画、ビジョン等を研究し立案する。	3
評価項目② 探究型教育・グローバル教育・ICT教育の実践を推進するため、21世紀型教育推進委員会の活動を支援する。特に、探究型教育では、新設された探究科の支援を通してSDGsを含めた教育を推進し、ICT教育では、引き続き1人1台タブレット端末の段階的導入を支援する。また、図書部や図書室が協力して進める図書館利用の活性化のための取り組みを支援する。	4
評価項目③ 計画的かつ適切な教員採用を進める。また、次世代リーダーの育成に努める。	4
評価項目④ 就業規則・給与規程等の改定を受けて、適切な労務管理を行う。また、研修制度を一層充実させるとともに、「チーム学校」の体制を整え、教員が教育活動に専念できるような学校組織づくりに向けてさらに努力する。	4
評価項目⑤ 教務部・入試広報部・事務室等と連携し、中高入試の出願者数をさらに増やすため、Web出願やSNSを利用した情報発信について十分研究した上で年度内の導入を目指す。	5

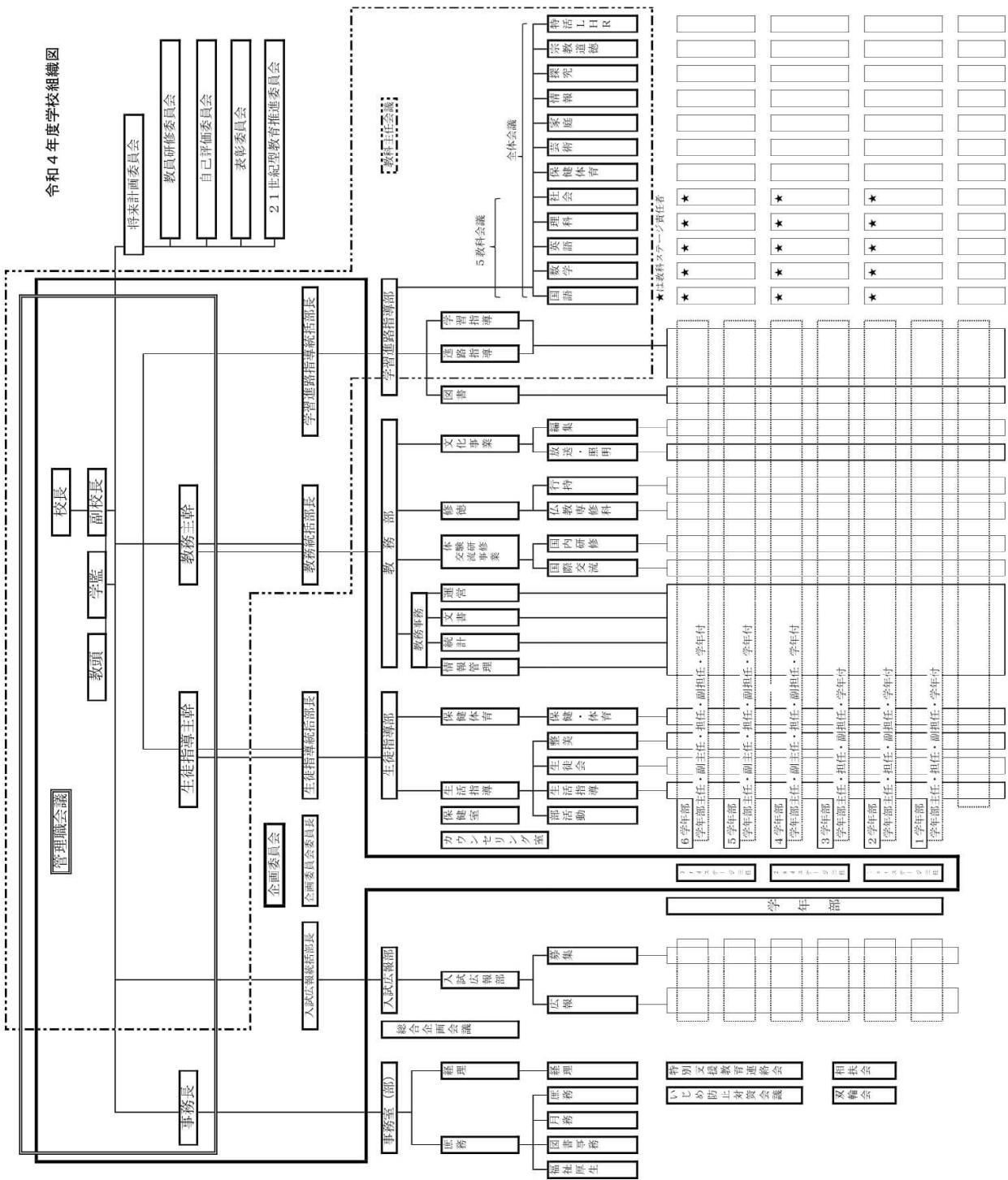
2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の 総括	創立100周年に向けての見通しや、新型コロナウイルス感染症対策等の危機管理も含めて施策の体系を再構築し、都度、関係各部署と連携を図りながら工夫して実行するよう努めた。
評価項目①	今年度も事業計画に基づいて作成した重点施策工程表、教育改革対応工程表等に沿って、概ね各事業を進めることができた。さらに、全教職員に対して実施したフォームによるヒアリング結果を踏まえて、現在、将来計画委員会を中心に「創立100周年を期した次の10ヵ年の中期事業計画」を取りまとめているところである。また、校内研修会において初めて「創立100周年に向けた憲の精神と建学の理念に関する研修」をおこない、本校ならではの教育に関して教職員間の共通理解を深めることができた。
評価項目②	探究型教育では、教職員対象の校内研修会において、春・夏続けてグループワークや講演会を実施した。また、新設された探究科の教員により、様々な形態の授業について研究がなされ、シラバス構築が進められている。グローバル教育では、イングリッシュラウンジを3年ぶりに対面で実施したところ多くの希望者が集まり、久しぶりのホーム留学には初めて複数名の生徒が参加した。さらに、担当部署が中心となって、次年度から始まるグローカル(グローバル+ローカル)スタディの準備を進め、グローカルセミナーも開催した。ICT教育では、今年度6つの学年のうち2つ(2・3学年部)で1人1台タブレット端末を導入したが、成果も出てきており、次年度は計画通り4つの学年(1~4学年部)に拡充する。図書館では、専用ホームページをはじめ、生徒から募集して決めたニックネーム(「TCSR」トクスル)や日頃の活動を紹介するリーフレット、利用ガイド、図書館だよりブログ等、情報発信のための様々な新しい取り組みにより、生徒の利用活性化を図った。

評価項目③	<p>10月上旬には次年度の各学年クラス数や各教科単位数の予想値を固め、教科ごとの年齢バランス、常勤・非常勤の区別等も熟慮した上で、4つの教科において新たに教員を公募した。近年、教科によっては教員採用で大変苦戦しているが、今年度は動き出すのが早かったこともあり、採用計画に従って内定を通知した後、3学期には採用前研修も実施した。また、次世代リーダーの育成については、徐々にではあるが近い将来の世代交代を意識しながら、校務分掌や学年・学級等の配役、指定外部研修への派遣等を実施することができた。</p>
評価項目④	<p>今年度も時間外勤務や休日振替の申請・許可、出勤簿の管理を含め、教職員の労務管理については適切な対応、正確な処理を心掛けて実行し、3学期には一部の届け出を完全デジタル化することもできた。「チーム学校」の体制については、大学生チーフターや部活動外部コーチを増員して強化を図った。また、労働者代表との協議の上、教職員が安心して教育活動等に専念できるようにするために、今年度末から次年度にかけて管理職との面談を実施しているところである。</p>
評価項目⑤	<p>当初の予定通り、関係各部署と連携の上、1学期には生徒募集活動においてInstagram(インスタグラム)やLINE(ライン)を利用した情報発信を開始し、2学期には中高入試におけるWeb出願のシステムを完成させた。そのほか、ホームページ上のPR強化や学校説明会の工夫等もあり、説明会参加者数は前年度より大幅に増え、目標としていた入試の出願者数増(中学28%増、高校18%増)に結びつけることができた。</p>

(6) 資料編

学校組織図	2 6
職員名表	2 7
生徒在籍数表	2 8
部活動加入者人数	2 9
授業・部活動・教科教室型校舎・進路に関する生徒のアンケート結果	3 0
授業参観に関する保護者のアンケート結果	3 3
卒業生の主な合格先	3 5



令和4年度

名 員 職 表

令和4年4月1日～

1	7クラス	4クラス	英	孝	仁	敬	渡辺コ	★加藤千子	※若月	*中田ア
s	13名	8名	保田 水	大森 金	生禾 金	敬	渡辺コ	★加藤千子	※若月	*中田ア
t	担任	半勤・半研日								
(1学年部									
)	(中1)									
d	副担任									
(低学年									
)	火									
r	担任	半勤・半研日								
(1学年部									
)	(中1)									
l	副担任									
(低学年									
)	火									
m	担任	半勤・半研日								
(2学年部									
)	(中2)									

4名	校長	岸本	副校長	今井	学監	教頭	鈴木シ

★ 学生部主任
△ 学年部主任
* (学年付)
※ 常勤講師

8名	主幹	北島 金	山崎八 山崎ノ 水	佐々木 土	野田 木	本田 水	田中 木	*佐東 火
半勤・半研日 学年外								

1	12クラス	4クラス	英	孝	仁	敬	渡辺 木	★伊藤ユ	※羽石 火	*上野マ
2	15名	8名	村上 月	竹間 木	中田イ 木	敬	渡辺 木	伊藤ナ 木	永澤 木	野間 木
n	担任	半勤・半研日								
(3学年部									
)	(中3)									
d	副担任									
(低学年									
)	火									
r	担任	半勤・半研日								
(4学年部									
)	(高1)									

1	12クラス	4クラス	英	孝	仁	敬	渡辺 木	△矢野 月	正恭 火	富川 木
2	15名	8名	山田 水	鎌木 金	井上 木	敬	渡辺 木	伊藤ナ 木	永澤 木	※上野ヒ 月
n	担任	半勤・半研日								
(5学年部									
)	(高2)									
d	副担任									
(低学年									
)	火									
r	担任	半勤・半研日								
(6学年部									
)	(高3)									

1	12クラス	4クラス	英	孝	仁	敬	渡辺 木	★伊藤ユ	※羽石 火	*上野マ
2	15名	8名	村上 月	竹間 木	中田イ 木	敬	渡辺 木	伊藤ナ 木	永澤 木	野間 木
n	担任	半勤・半研日								
(3学年部									
)	(中3)									
d	副担任									
(低学年									
)	火									
r	担任	半勤・半研日								
(4学年部									
)	(高1)									

1	12クラス	6クラス	英	孝	仁	敬	渡辺 木	★立田 月	正 月	小原ク 木
2	13名	10名	山田 水	鎌木 金	井上 木	敬	渡辺 木	伊藤ナ 木	永澤 木	※吉川 木
n	担任	半勤・半研日								
(5学年部									
)	(高2)									
d	副担任									
(低学年									
)	火									
r	担任	半勤・半研日								
(6学年部									
)	(高3)									

1	12クラス	6クラス	英	孝	仁	敬	渡辺 木	★立田 月	正 月	小原ク 木
2	13名	10名	山田 水	鎌木 金	井上 木	敬	渡辺 木	伊藤ナ 木	永澤 木	※吉川 木
n	担任	半勤・半研日								
(5学年部									
)	(高2)									
d	副担任									
(低学年									
)	火									
r	担任	半勤・半研日								
(6学年部									
)	(高3)									

1	中学クラス数	11クラス
	高校クラス数	20クラス
	合計	31クラス
	中学生員数	243名
	高校教員数	344名
	合計	587名

() 内常勤講師(内数)

1	事任教員数	51名
	常勤講師数	7名
	非常勤講師数	24名
	特別非常勤講師	4名
	事務職員数	4名
	事務職員数(常勤)	4名
	事務職員(非常勤)	3名
	合言(管理職を除く)	91名

1	事務長	廣井	塚原	前主	上田ノ	須賀	小又	森シ	篠原	田丸	水野	藤井	寺澤	小原ヨ	テリー
2	月火水木金	火	金	月火木金土	月火木金土	火水木金土	火水木金土	火水木金土	火水木金土	月火木金土	月火木金土	月火木金土	月火木金土	月火木金土	月火木金土
n	国	社	社	社	社	社	社	社	社	理	理	理	理	理	理
d	岩崎	竹内	岩本	大友	主馬野	齋藤	永井	永井	和知	飯村	小林	三浦	児玉	小原ヨ	テリー
(月水金	月水金	月水木金	月水木金	月水木金	月水木金	月水木金	月水木金	月水木金	月水木金	月水木金	月水木金	月水木金	月水木金	月水木金
)	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英
r	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務
(長	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木
)	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務

1	事務室主任	佐藤ア	※佐藤ア	竹生	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木
2	半勤・半研日	月火水木金													
n	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務
d	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務
(長	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木
)	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務

2022年度 生徒在籍数表
4月1日現在

○学年部主任

組	中1 (1学年部)				中2 (2学年部)				中3 (3学年部)			
	在籍数		在籍数		在籍数		在籍数		在籍数		在籍数	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
英	保田	17	11	28	川崎	13	13	26	村上	19	8	27
孝	大森	18	10	28	富吉	20	10	30	竹間	20	8	28
仁	忠末	22	12	34	福嶋	21	9	30	中田イ	18	11	29
敬	渡辺	21	13	34					芝田	18	12	30
	4	78	46	124	3	54	32	86	4	75	39	114

組	高1 (4学年部)				高2 (5学年部)				高3 (6学年部)					
	担 任		在籍数		担 任		在籍数		担 任		在籍数			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
英 妹	○梅沢	17	8	25	山田	17	18	35	河野	15	17	32		
孝 総	小泉	16	8	24	鈴木	17	18	35	巻島	15	11	26		
仁 合	鶴田	24	12	36	井上	16	18	34	遠山	22	12	34		
敬 進	原	25	11	36	森口	18	16	34	阿部	16	16	32		
眞 正	柳原	13	8	21	○立田	22	14	36	△大石ト	21	13	34		
恭 業	△矢野牛	14	7	21	△浅香	21	15	36	○飯田	21	13	34		
	高川	23	12	35										
	伊藤才	23	13	36										
		8	155	79	234				6	111	99	210		
											6	110	82	192

高1 (4学年部)		高2 (5学年部)		高3 (6学年部)	
コース	在籍数	コース	在籍数	コース	在籍数
	男 クラス数	男 クラス数	男 クラス数	男 クラス数	男 クラス数
総合進学	4 82	39 121	4 68	70 138	4 68
特進	4 73	40 113	2 43	29 72	2 42
計	8 155	79 234	計 6	111 99	210 計 6 110

学校全体	クラス数	在籍数			計
		男	女	計	
中学校	11	207	117	324	
高等学校	20	376	260	636	
合計	31	583	377	960	

()内、休学者数(内数)

■令和4年度 部活動加入状況■

	中学						高校						合計						
	男子		女子		男子		女子		男子		女子		男子		女子				
	1年	女子	男子	1年	女子	男子	女子	1年	女子	男子	女子	2年	女子	男子	女子	2年	女子		
バレーボール				1				2		3		4		5		1		0	
男子バスケットボール	4		3	6		8		2		3		8		5		1		9	
女子バスケットボール	1		3	1		2		1		6		0		5		0		5	
ハンドミントン	9		5	3		18		6		4		9		8		17		8	
高校サッカー						13		2		5		11		0		0		29	
中学サッカー	5		9															4	
ソフトボール			5															17	
男子テニス	6		5	11		10		7		4		2		1		0		0	
女子テニス	6		1	2		3		6		1		0		0		0		0	
高校野球						12		2		3		1		11		0		0	
中学野球																		3	
陸上	9		1	3		5		12		2		4		1		1		0	
柔道																		0	
水泳																		0	
ハトン	3		4	3		5		1		3		3		3		0		0	
美術	1			1	2	5		1		3		1		1		1		0	
書道						2		10		2		8		2		0		0	
吹奏楽	3		1	3	6	2		3		10		2		4		8		9	
アンサンブルグレイン	1		2					1				4		0		0		0	
聲音	1																	0	
茶道	2					3		2		3		1		2		1		2	
洋舞	5		3			5		3		8		11		5		2		3	
自然科学	2		5	2	1			2		5				0		13		0	
漫画研究	3		3	2		4		4		3		1		3		9		1	
調理						2		4		3		2		5		0		6	
写真	1				1				1		3		3		1		2		6
放送			2			3			2		5		2		3		4		0
囲碁・将棋	1					12					1		1		0		0		19
JRC	3				1						4		5		0		5		8
鉄道研究	3		2		1						4		5		0		0		14
パンコン	7		5		4					10		16		0		10		0	15
洋裁	2		2							3		3		2		2		3	11
数学	1					2			1		7		2		1		3		2
英語			1						2		3		1		0		2		3
社会科	5		3									1		1		1		1	6
												1		1		0		1	13

運動部

文化部

+

令和4年度 授業・部活等に関する生徒のアンケート結果

質問事項

設問1 (国語・社会・数学・理科・英語について)

ア) この教科の授業について、満足度はどうですか。

・満足…5 少し満足…4 普通…3 少し不満…2 不満…1

イ) 4月当初よりもこの教科の学力は上がったと思いますか。

・向上…5 少し向上…4 変わらない…3 少し低下…2 低下…1

ウ) この教科の授業に臨むにあたり、予習や復習の準備はどうですか。

・充分…5 大体充分…4 普通…3 あまり充分でない…2 不充分…1

設問2 (教科；保健体育、芸術、家庭、探求)

ア) この教科の授業について、満足度はどうですか。

・満足…5 少し満足…4 普通…3 少し不満…2 不満…1

イ) この教科を通じ、社会全体に対して、その方面への興味は向上しましたか。

・向上…5 少し向上…4 変わらない…3 少し低下…2 低下…1

設問3 (部・クラブ)

ア) 所属している部活動は次のどれですか。

・体育部…2 文化部…1 現在所属していない…0

イ) 部活動の活動日は年間を通して、週当たり何日ですか。

・5日～7日…3 4日～3日…2 2日～1日…1 現在所属していない…0

ウ) このクラブに所属していて満足ですか。

・満足…5 少し満足…4 普通…3 少し不満…2 不満…1 現在所属していない…0

エ) 来年もこのクラブを継続するつもりですか。

・継続する…5 継続するつもり…4 わからない…3 継続しないつもり…2 継続しない…1

現在所属していない…0

設問4 (教科教室型校舎)

本校の教科エリア型・ホームベース型校舎（教科教室型校舎）についてどう思いますか。

・よい…5 大体よい…4 どちらともいえない…3 あまりよくない…2 よくない…1

設問5 (進路関係；高3のみ回答)

ア) 卒業後の進路、または、希望する進路はどれですか。

・進学…1 就職…0

イ) 進学する学校、または、したい学校はどれですか。（就職は0を記載）

・4(6)年制大学…4 短期大学…3 専門学校…2 文部科学省管轄外の学校…1 就職…0

ウ) 進学の形態は次のうちのどれですか。（就職は0を記載）

・一般選抜…4 学校推薦型選抜（指定校）…3 学校推薦型選抜（公募）…2 総合型選抜…1 就職…0

エ) 進路結果、または、今それをを目指している進路目標に満足していますか。

・満足…5 少し満足…4 普通…3 少し不満…2 不満…1

オ) 進路結果に対しての準備状況はどうでしたか。または、現在を目指している進路目標への準備はどうですか。

・充分…5 大体充分…4 普通…3 あまり充分でない…2 不十分…1

結果 (%表示) * 小数点 2 位以下を四捨五入したため、100パーセントにならない項目があります。

設問 1 (国・社・数・理・英)

【中学 1 年】

	国語			社会			数学			理科			英語		
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ
5	25.9%	16.8%	3.4%	53.1%	34.5%	11.5%	36.6%	26.9%	15.3%	22.5%	19.0%	4.8%	32.9%	20.6%	9.1%
4	26.3%	42.2%	19.0%	18.6%	38.1%	28.3%	24.1%	24.1%	25.7%	27.3%	29.9%	24.1%	24.7%	30.9%	22.4%
3	36.6%	26.3%	52.6%	23.0%	18.6%	39.8%	24.8%	27.6%	36.8%	34.6%	35.9%	50.0%	29.6%	36.6%	48.1%
2	6.0%	11.2%	18.5%	2.7%	5.3%	12.4%	5.5%	14.5%	12.5%	10.0%	9.5%	11.8%	6.2%	7.8%	11.6%
1	5.2%	3.4%	6.5%	2.7%	3.5%	8.0%	9.0%	6.9%	9.7%	5.6%	5.6%	9.2%	6.6%	4.1%	8.7%

【中学 2 年】

	国語			社会			数学			理科			英語		
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ
5	32.5%	11.7%	8.4%	57.9%	31.6%	9.2%	44.3%	24.1%	17.2%	31.8%	13.0%	7.8%	28.6%	10.1%	9.5%
4	25.3%	41.6%	11.7%	22.4%	34.2%	18.4%	22.4%	28.7%	17.8%	23.4%	26.6%	13.0%	17.9%	23.8%	11.3%
3	39.0%	36.4%	52.6%	18.4%	26.3%	52.6%	27.6%	36.8%	46.6%	29.9%	41.6%	50.6%	38.1%	50.0%	57.7%
2	2.6%	7.1%	16.2%	0.0%	6.6%	10.5%	4.0%	6.3%	8.6%	8.4%	12.3%	15.6%	11.9%	9.5%	8.9%
1	0.6%	3.2%	11.0%	1.3%	1.3%	9.2%	1.7%	4.0%	9.8%	6.5%	6.5%	13.0%	3.6%	6.5%	12.5%

【中学 3 年】

	国語			社会			数学			理科			英語		
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ
5	50.0%	27.1%	10.7%	35.5%	17.8%	9.3%	29.9%	19.2%	10.7%	29.0%	25.7%	9.3%	39.6%	29.7%	27.6%
4	22.4%	36.4%	17.8%	23.4%	28.0%	14.0%	30.4%	26.6%	19.2%	24.8%	37.4%	22.0%	24.2%	26.8%	24.3%
3	26.2%	31.3%	52.3%	30.8%	37.4%	45.8%	31.8%	40.2%	51.9%	30.8%	30.4%	46.7%	30.5%	37.3%	38.0%
2	1.4%	5.1%	11.7%	8.4%	14.0%	20.6%	5.1%	12.1%	9.8%	6.5%	4.2%	12.6%	4.1%	4.8%	5.7%
1	0.0%	0.0%	7.5%	1.9%	2.8%	10.3%	2.8%	1.9%	8.4%	8.9%	2.3%	9.3%	1.6%	1.4%	4.4%

【高校 1 年】

	国語			社会			数学			理科			英語		
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ
5	21.3%	7.2%	2.6%	25.5%	15.0%	5.1%	25.5%	16.8%	9.8%	25.2%	16.2%	4.8%	24.8%	12.9%	6.1%
4	28.0%	37.4%	11.9%	26.9%	26.9%	16.1%	31.1%	35.0%	25.5%	36.4%	36.4%	16.0%	26.2%	26.6%	18.7%
3	40.2%	45.1%	48.1%	35.6%	47.4%	53.5%	31.3%	33.4%	42.2%	33.3%	34.6%	55.1%	34.2%	46.7%	51.5%
2	8.4%	8.9%	24.3%	9.6%	8.4%	14.5%	7.2%	10.0%	11.7%	4.4%	10.0%	15.6%	11.5%	9.8%	16.2%
1	2.1%	1.4%	13.1%	2.3%	2.3%	10.7%	4.9%	4.7%	10.8%	0.6%	2.8%	8.4%	3.3%	4.0%	7.5%

【高校 2 年】

	国語			社会			数学			理科			英語		
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ
5	22.8%	11.9%	7.7%	27.9%	12.1%	6.8%	19.9%	14.8%	9.7%	36.9%	16.8%	6.7%	22.8%	18.7%	9.2%
4	21.8%	25.3%	17.5%	20.4%	30.0%	19.6%	18.2%	31.6%	18.8%	31.4%	34.4%	15.7%	23.7%	29.3%	20.2%
3	35.8%	45.3%	47.4%	36.8%	42.9%	47.5%	37.4%	41.1%	52.1%	27.1%	40.6%	57.6%	43.2%	44.7%	54.9%
2	12.6%	15.1%	15.4%	8.2%	10.4%	15.4%	12.7%	7.9%	11.6%	2.0%	5.9%	14.9%	7.2%	5.3%	12.0%
1	7.0%	2.5%	11.9%	6.8%	4.6%	10.7%	11.8%	4.6%	7.9%	2.7%	2.3%	5.1%	3.1%	2.0%	3.6%

【高校 3 年】

	国語			社会			数学			理科			英語		
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ
5	37.5%	24.7%	13.1%	51.8%	39.8%	18.1%	30.0%	21.0%	14.5%	49.2%	36.5%	23.8%	32.4%	23.5%	15.8%
4	27.8%	38.6%	23.2%	28.9%	32.5%	32.5%	25.0%	37.5%	19.5%	26.2%	34.1%	23.8%	28.1%	37.9%	26.4%
3	30.9%	35.5%	49.0%	15.7%	22.9%	36.1%	37.5%	33.5%	47.0%	24.6%	25.4%	35.7%	32.1%	36.6%	44.2%
2	3.1%	0.8%	8.9%	2.4%	4.8%	8.4%	4.5%	4.5%	12.5%	0.0%	4.0%	6.3%	4.5%	1.6%	8.8%
1	0.8%	0.4%	5.8%	1.2%	0.0%	4.8%	3.0%	3.5%	6.5%	0.0%	0.0%	10.3%	2.9%	0.5%	4.7%

設問2（保育・芸術・家庭・探求）

【中学1年】

	保育		芸術		技術家庭	
	ア	イ	ア	イ	ア	イ
5	28.4%	7.6%	35.1%	14.9%	23.9%	13.8%
4	22.7%	26.7%	25.0%	28.1%	24.8%	26.6%
3	36.4%	58.7%	32.9%	53.1%	38.9%	46.8%
2	7.6%	3.6%	5.3%	2.2%	6.2%	7.3%
1	4.9%	3.6%	1.8%	1.8%	6.2%	5.5%

【中学2年】

	保育		芸術		技術家庭	
	ア	イ	ア	イ	ア	イ
5	48.1%	26.0%	34.6%	16.0%	33.8%	19.5%
4	27.9%	24.0%	20.3%	21.6%	31.2%	28.6%
3	22.1%	46.8%	37.2%	52.8%	32.5%	44.2%
2	0.6%	1.3%	3.0%	4.3%	1.3%	2.6%
1	1.3%	1.9%	4.8%	5.2%	1.3%	5.2%

【中学3年】

	保育		芸術		技術家庭	
	ア	イ	ア	イ	ア	イ
5	51.4%	23.1%	33.2%	20.9%	34.9%	30.2%
4	19.3%	29.7%	26.1%	26.5%	32.1%	22.6%
3	24.1%	43.4%	34.6%	47.4%	24.5%	42.5%
2	3.8%	2.8%	2.4%	3.3%	1.9%	1.9%
1	1.4%	0.9%	3.8%	1.9%	6.6%	2.8%

【高校1年】

	保育		芸術		探究基礎	
	ア	イ	ア	イ	ア	イ
5	32.4%	15.3%	33.0%	20.5%	18.3%	12.7%
4	31.2%	27.0%	30.7%	25.6%	34.7%	31.5%
3	33.3%	55.9%	33.0%	50.7%	43.7%	55.4%
2	1.6%	1.2%	2.8%	2.8%	2.3%	0.5%
1	1.4%	0.7%	0.5%	0.5%	0.9%	0.0%

【高校2年】

	保育		家庭	
	ア	イ	ア	イ
5	33.9%	16.8%	20.9%	9.0%
4	28.2%	22.2%	26.6%	27.1%
3	33.9%	56.7%	42.4%	55.4%
2	1.7%	2.3%	5.6%	4.0%
1	2.3%	2.0%	4.5%	4.5%

【高校3年】

	保育	
	ア	イ
	54.6%	33.7%
	20.9%	22.1%
	20.9%	42.3%
	3.1%	1.2%
	0.6%	0.6%

設問3（部活動）＊網掛け部分は回答にはない項目のため、数値がある場合は誤回答となります。

【中学1年】

	ア	イ	ウ	エ
5			44.7%	42.1%
4			15.8%	18.4%
3		34.2%	14.9%	19.3%
2	46.5%	31.6%	8.8%	5.3%
1	41.2%	22.8%	5.3%	4.4%
0	10.5%	10.5%	10.5%	10.5%

【中学2年】

	ア	イ	ウ	エ
5			40.8%	40.8%
4			15.8%	28.9%
3		40.8%	19.7%	10.5%
2	40.8%	26.3%	7.9%	5.3%
1	44.7%	17.1%	2.6%	1.3%
0	13.2%	14.5%	13.2%	13.2%

【中学3年】

	ア	イ	ウ	エ
5			33.0%	28.2%
4			16.5%	22.3%
3		18.4%	12.6%	12.6%
2	35.9%	34.0%	3.9%	3.9%
1	35.0%	18.4%	4.9%	3.9%
0	29.1%	29.1%	29.1%	29.1%

【高校1年】

	ア	イ	ウ	エ
5			37.0%	43.1%
4			14.7%	22.7%
3		33.2%	20.4%	6.2%
2	40.4%	22.7%	2.4%	2.4%
1	33.3%	19.0%	0.9%	0.9%
0	25.4%	24.6%	24.6%	24.6%

【高校2年】

	ア	イ	ウ	エ
5			35.2%	29.9%
4			14.5%	13.4%
3		27.3%	20.6%	14.6%
2	29.1%	32.1%	3.6%	8.5%
1	47.3%	16.4%	3.6%	9.1%
0	22.4%	23.0%	22.4%	24.4%

【高校3年】

	ア	イ	ウ	エ
5			53.9%	17.8%
4			14.8%	3.7%
3		41.4%	13.9%	13.1%
2	44.6%	19.0%	1.7%	2.8%
1	33.1%	19.0%	0.9%	28.0%
0	18.2%	16.4%	14.8%	34.6%

設問4（教科教室型校舎）＊網掛け部分は回答にはない項目のため、数値がある場合は誤回答となります。

【中学1年】

5	20.5%
4	26.8%
3	26.8%
2	15.2%
1	10.7%

【中学2年】

5	23.4%
4	23.4%
3	23.4%
2	9.1%
1	20.8%

【中学3年】

5	14.0%
4	20.0%
3	24.0%
2	19.0%
1	23.0%

【高校1年】

5	3.3%
4	17.8%
3	33.8%
2	18.8%
1	26.3%

【高校2年】

5	7.4%
4	13.6%
3	26.1%
2	19.9%
1	33.0%

【高校3年】

5	18.2%
4	18.8%
3	32.1%
2	14.5%
1	16.4%

	ア	イ	ウ	エ	オ
5			58.7%	23.4%	
4		91.0%	44.9%	19.8%	26.9%
3		4.2%	40.1%	18.6%	30.5%
2	0.0%	1.2%	5.4%	1.8%	16.2%
1	97.6%	2.4%	8.4%	1.2%	3.0%
0	0.6%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%

授業参観（6月25日）アンケート結果

令和4年7月5日
自己評価委員会

1. 参観保護者数

学年	1学年部 (中1学年)	2学年部 (中2学年)	3学年部 (中3学年)	4学年部 (高1学年)	5学年部 (高2学年)	6学年部 (高3学年)	その他 (学年不明・複数学年)
在籍数	124人	86人	114人	232人	210人	192人	人
参加者人数	113人	72人	82人	156人	114人	51人	10人
アンケート回答者	83人	42人	49人	100人	57人	24人	10人
回収率	73.5%	58.3%	59.8%	64.1%	50.0%	47.1%	100.0%

2. アンケート質問事項

- ① 授業の雰囲気はいかがでしたか。
- ② 生徒の授業での集中度はいかがでしたか。
- ③ 休み時間などの授業外の生徒の生活はいかがでしたか。
- ④ お子さんのご自宅での予習・後習のようすはいかがでしたか。
- ⑤ ご家庭での学習活動と本校の授業との関係はいかがですか。
- ⑥ 授業参観全体の様子はいかがでしたか。

3. アンケート結果 5: 大変良い 4: 少し良い 3: 普通 2: 少し悪い 1: 大変悪い

平均	2学年部(中2学年)				平均	
	5	4	3	2	1	未回答
① 47人	18人	15人	3人	0人	0人	4.3点
② 36人	25人	17人	5人	0人	0人	4.1点
③ 27人	21人	31人	0人	1人	3人	3.9点
④ 12人	18人	27人	18人	8人	0人	3.1点
⑤ 18人	24人	32人	7人	2人	0人	3.6点
⑥ 40人	23人	18人	18人	2人	0人	4.2点

平均	1学年部(中1学年)				平均	
	5	4	3	2	1	未回答
① 47人	34人	18人	1人	0人	1人	4.3点
② 36人	36人	25人	2人	0人	1人	4.1点
③ 31人	31人	32人	1人	0人	5人	4.0点
④ 8人	16人	38人	28人	9人	1人	2.9点
⑤ 11人	24人	54人	6人	1人	4人	3.4点
⑥ 41人	38人	19人	0人	0人	2人	4.2点

平均	4学年部(高1学年)				平均	
	5	4	3	2	1	未回答
① 46人	34人	18人	1人	0人	1人	4.3点
② 36人	36人	25人	2人	0人	0人	4.1点
③ 31人	31人	32人	1人	0人	5人	4.0点
④ 8人	16人	38人	28人	9人	1人	2.9点
⑤ 11人	24人	54人	6人	1人	4人	3.4点
⑥ 41人	38人	19人	0人	0人	2人	4.2点

平均	3学年部(中3学年)				平均	
	5	4	3	2	1	未回答
① 11人	11人	19人	18人	1人	0人	3.8点
② 8人	13人	17人	1人	1人	0人	3.7点
③ 14人	8人	20人	0人	0人	0人	3.9点
④ 6人	4人	16人	9人	7人	0人	2.8点
⑤ 8人	7人	18人	6人	3人	0人	3.3点
⑥ 14人	10人	17人	1人	0人	0人	3.9点

平均	5学年部(高2学年)				平均	
	5	4	3	2	1	未回答
① 20人	21人	14人	2人	0人	0人	4.0点
② 20人	19人	14人	4人	0人	0人	4.0点
③ 12人	18人	27人	0人	0人	0人	3.7点
④ 6人	8人	21人	16人	6人	0人	2.9点
⑤ 7人	9人	29人	11人	0人	1人	3.2点
⑥ 17人	27人	11人	2人	0人	0人	4.0点

平均	6学年部(高3学年)				平均	
	5	4	3	2	1	未回答
① 11人	9人	4人	0人	0人	0人	4.3点
② 12人	6人	6人	0人	0人	0人	4.3点
③ 5人	4人	12人	0人	0人	0人	3人
④ 5人	3人	10人	3人	2人	1人	3.3点
⑤ 4人	4人	14人	0人	1人	1人	3.4点
⑥ 8人	12人	4人	0人	0人	0人	4.2点

4. 昨年度アンケート結果 (2021年6月)

平均	1学年部(中1学年)				平均	
	1	2	3	4	5	6
① 4.3点	4.0点	点	点	点	点	点
② 3.9点	3.7点	点	点	点	点	点
③ 4.0点	3.9点	点	点	点	点	点
④ 2.8点	2.8点	点	点	点	点	点
⑤ 3.5点	3.4点	点	点	点	点	点
⑥ 4.2点	4.0点	点	点	点	点	点

平均	2学年部(中2学年)				平均	
	1	2	3	4	5	6
① 3.7点	点	点	点	点	点	点
② 3.9点	点	点	点	点	点	点
③ 4.0点	点	点	点	点	点	点
④ 2.8点	点	点	点	点	点	点
⑤ 3.5点	点	点	点	点	点	点
⑥ 4.2点	点	点	点	点	点	点

授業参観（10月21日）アンケート結果

1. 参観保護者数

学年	1学年部 (中1学年)	2学年部 (中2学年)	3学年部 (中3学年)	4学年部 (高1学年)	5学年部 (高2学年)	6学年部 (高3学年)	その他 (学年不明・複数年)
在籍数	123人	86人	114人	231人	210人	191人	人
参加者人数	86人	40人	51人	75人	57人	18人	11人
アンケート回答者	62人	24人	40人	53人	37人	11人	11人
回収率	72.1%	60.0%	78.4%	70.7%	64.9%	61.1%	%

2. アンケート質問事項

- ① 授業の雰囲気はいかがでしたか。
 ② 生徒の授業での集中度はいかがでしたか。
 ③ 休み時間などの授業外の生徒の生活はいかがでしたか。
 ④ お子さんのご自宅での予習・復習のようすはいかがでしたか。
 ⑤ ご家庭での学習活動と本校の授業との関係はいかがですか。
 ⑥ 授業参観全体の様子はいかがでしたか。

3. アンケート結果 5: 大変良い 4: 少し良い 3: 普通 2: 少し悪い 1: 大変悪い

5	4	3	2	1	未回答	2学年部(中2学年)				3学年部(中3学年)				6学年部(高3学年)				平均							
						5	4	3	2	1	未回答	5	4	3	2	1	未回答	5	4	3	2	1	未回答	平均	
① 28人	24人	9人	1人	0人	0人	4.3点	① 11人	7人	5人	0人	1人	0人	4.1点	① 11人	15人	14人	0人	0人	0人	0人	3.9点				
② 17人	21人	20人	4人	0人	0人	3.8点	② 10人	8人	5人	0人	1人	0人	4.1点	② 10人	8人	18人	4人	0人	0人	0人	3.6点				
③ 16人	14人	27人	1人	0人	4人	3.8点	③ 5人	7人	10人	0人	1人	1人	3.7点	③ 4人	13人	20人	0人	0人	0人	0人	3.6点				
④ 6人	7人	21人	20人	7人	1人	2.8点	④ 1人	5人	11人	4人	3人	0人	2.9点	④ 2人	8人	15人	12人	3人	0人	0人	2.9点				
⑤ 11人	17人	26人	6人	0人	2人	3.6点	⑤ 4人	9人	8人	3人	0人	0人	3.6点	⑤ 3人	10人	21人	5人	1人	0人	0人	3.2点				
⑥ 31人	19人	11人	1人	0人	0人	4.3点	⑥ 9人	11人	3人	1人	0人	0人	4.2点	⑥ 10人	15人	14人	1人	0人	0人	0人	3.9点				
1学年部(中1学年)						2学年部(中2学年)						3学年部(中3学年)						6学年部(高3学年)						平均	
5	4	3	2	1	未回答	5	4	3	2	1	未回答	5	4	3	2	1	未回答	5	4	3	2	1	未回答	平均	
① 22人	19人	9人	3人	0人	0人	4.1点	① 13人	6人	17人	1人	0人	0人	3.8点	① 6人	2人	3人	0人	0人	0人	0人	4.3点				
② 11人	17人	17人	7人	1人	0人	3.6点	② 8人	8人	13人	8人	0人	0人	3.4点	② 6人	1人	4人	0人	0人	0人	0人	4.2点				
③ 13人	17人	20人	1人	1人	1人	3.8点	③ 6人	12人	17人	0人	0人	2人	3.7点	③ 5人	3人	3人	0人	0人	0人	0人	4.2点				
④ 3人	12人	19人	17人	2人	0人	2.9点	④ 7人	5人	18人	5人	2人	0人	3.3点	④ 3人	0人	5人	3人	0人	0人	0人	3.3点				
⑤ 8人	12人	29人	4人	0人	0人	3.5点	⑤ 6人	8人	18人	5人	0人	0人	3.4点	⑤ 6人	2人	3人	0人	0人	0人	0人	4.3点				
⑥ 23人	15人	12人	3人	0人	0人	4.1点	⑥ 11人	14人	12人	0人	0人	0人	4.0点	⑥ 5人	3人	3人	0人	0人	0人	0人	4.2点				
4学年部(高1学年)						5学年部(高2学年)						6学年部(高3学年)						6学年部(高3学年)						平均	
5	4	3	2	1	未回答	5	4	3	2	1	未回答	5	4	3	2	1	未回答	5	4	3	2	1	未回答	平均	
① 1人	5人	4人	0人	0人	1人	3.7点	① 4.3点	3.8点	3.8点	4.3点	4.0点	4.3点	① 1点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	4.3点
② 1人	5人	4人	0人	0人	1人	3.7点	② 4.1点	3.7点	3.6点	4.1点	4.0点	4.3点	② 1点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	4.2点
③ 2人	5人	3人	0人	0人	0人	3.9点	③ 3.9点	3.9点	3.8点	4.0点	3.7点	3.7点	③ 1点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	4.2点
④ 0人	1人	4人	5人	0人	1人	2.6点	④ 3.1点	2.8点	2.9点	2.9点	3.3点	3.3点	④ 1点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	4.2点
⑤ 1人	1人	6人	2人	0人	1人	3.1点	⑤ 3.6点	3.3点	3.3点	3.4点	3.2点	3.4点	⑤ 1点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	4.2点
⑥ 3人	6人	1人	0人	0人	1人	4.2点	⑥ 4.2点	3.9点	3.9点	4.2点	4.0点	4.2点	⑥ 1点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	4.2点
その他(学年不明・複数年)						平均						平均						平均						平均	
5	4	3	2	1	未回答	5	4	3	2	1	未回答	5	4	3	2	1	未回答	5	4	3	2	1	未回答	平均	

4. 前回アンケート結果 (2022年6月)

1学年部 (中1学年)	2学年部 (中2学年)	3学年部 (中3学年)	4学年部 (高1学年)	5学年部 (高2学年)	6学年部 (高3学年)	1学年部 (中1学年)						2学年部 (中2学年)						3学年部 (中3学年)						4学年部 (高1学年)						5学年部 (高2学年)						6学年部 (高3学年)					
						1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6						
① 1人	5人	4人	0人	0人	1人	3.7点	① 4.3点	3.8点	3.8点	4.3点	4.0点	4.3点	① 1点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点						
② 1人	5人	4人	0人	0人	1人	3.7点	② 4.1点	3.7点	3.6点	4.1点	4.0点	4.3点	② 1点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点							
③ 2人	5人	3人	0人	0人	0人	3.9点	③ 3.9点	3.9点	3.8点	4.0点	3.7点	3.7点	③ 1点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点							
④ 0人	1人	4人	5人	0人	1人	2.6点	④ 3.1点	2.8点	2.9点	2.9点	3.3点	3.3点	④ 1点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点							
⑤ 1人	1人	6人	2人	0人	1人	3.1点	⑤ 3.6点	3.3点	3.3点	3.4点	3.2点	3.4点	⑤ 1点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点							
⑥ 3人	6人	1人	0人	0人	1人	4.2点	⑥ 4.2点	3.9点	3.9点	4.2点	4.0点	4.2点	⑥ 1点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点							

5. 前年度アンケート結果 (2021年10月)

1学年部 (中1学年)	2学年部 (中2学年)	3学年部 (中3学年)	4学年部 (高1学年)	5学年部 (高2学年)	6学年部 (高3学年)	1学年部 (中1学年)						2学年部 (中2学年)						3学年部 (中3学年)						4学年部 (高1学年)						5学年部 (高2学年)						6学年部 (高3学年)					
						1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1											

主な合格先の推移(過去5年間)

2023/4/17 判明分

大学名\入試年度	H 3	R 2	R 3	R 4	R 5	現役生		過年度生		不明
						内進生	高入生	内進生	高入生	
国公立	茨城大学			1						
	宇都宮大学		1							
	筑波大学					1	1			
	千葉大学					1	1			
	電気通信大学		1							
	東京海洋大学			1						
	東京学芸大学		1							
	東京工業大学				1					
	岡山大学				1					
	鳥取大学	1								
	横浜国立大学	1	2	3						
	神奈川県立保健福祉大学				2	1		1		
	川崎市立看護大学					1	1			
	静岡県立大学			1						
	都留文科大学				1					
	東京都立大学				1					
	横浜市立大学	1				1	1			
早慶上理	早稲田大学	5	1	2	2	3	1	1	1	
	慶應義塾大学			1	2	3		3		
	上智大学	1	1	2		1		1		
	東京理科大学	5		6	4	2	2			
G・MARCH	学習院大学	3	2	1	5	2	1	1		
	明治大学	8	8	6	7	17	12	5		
	青山学院大学	1	6	4	9	5	1	4		
	立教大学	3	2	7	3	2	2			
	中央大学	9	6	7	10	9	7	2		
	法政大学	13	4	12	8	14	11	3		
成蹊・成城・明学 獨協・國學院・武藏	成蹊大学	3	3		4	3	2	1		
	成城大学	2	4	6	2	2	1	1		
	明治学院大学	4	2	2	2	12	11	1		
	獨協大学				1	1		1		
	國學院大学	5	6	7	9	4	4			
	武蔵大学	2	1		1	4		2		2
日東駒専	日本大学	23	27	19	19	22	12	10		
	東洋大学	22	8	9	12	11	6	2		3
	駒澤大学	10	8	10	7	11	3	8		
	専修大学	6	7	12	6	11	7	4		

主な合格先の推移(過去5年間)

2023/4/17 判明分

大学名\入試年度		H 3 1	R 2	R 3	R 4	R 5	現役生		過年度生		不明
							内進生	高入生	内進生	高入生	
大東(東)亜帝国	大東文化大学	1		1	1						
	東海大学	12	5	16	17	11	4	5			2
	亜細亜大学		1	5	3						
	帝京大学	7	12	12	16	5	1	4			
	国士館大学	14	6	5	4	6	4	2			
東京・神奈川地区	桜美林大学	4	5	8	4	4		4			
	神奈川大学	18	36	21	24	27	10	17			
	関東学院大学	9	22	15	16	36	13	14			9
	北里大学	4	2	7	5	3		3			
	昭和大学	2	2	3		2	1	1			
	玉川大学	5	3	8	6	8	4	4			
女子大	跡見学園女子大学				1						
	日本女子大学	1			1	1	1				
	大妻女子大学	2		1							
	学習院女子大学		2		1	1	1	1			
	鎌倉女子大学	2	7	6	1	2	2				
	共立女子大学	1			2						
	駒沢女子大学	1		1							
	相模女子大学		9	3	2	1		1			
	実践女子大学		1	1	3	1		1			
	昭和女子大学	3	3	1		3		3			
	白百合女子大学		1		1						
	聖心女子大学					1	1				
	清泉女子大学			2		1		1			
	東京家政大学			2							
	東京家政学院大学			1		1	1				
	東京女子大学		1		3						
	東洋英和女学院大学	3	3	2	2						
	フェリス女学院大学	1	5	3	4	3	2	1			

主な合格先の推移(過去5年間)

2023/4/17 判明分

大学名\入試年度		H 3 1	R 2	R 3	R 4	R 5	現役生		過年度生		不明
							内進生	高入生	内進生	高入生	
理系大学	麻布大学	5	2	4	4	6	4	2			
	神奈川工科大学	4	11	5	13	6	3	3			
	工学院大学	7	2	1	1						
	芝浦工業大学	4	3	1	3	4	1	3			
	湘南工科大学	8	4	4	3	6	3	3			
	帝京科学大学	5	7			3	1		1		
	東京工科大学	4	6	12	9	5	2	3			
	東京電機大学	4	3	3	2	5	2	3			
	東京都市大学	5	2	4	6	7		7			
	東京農業大学	9	7	11	3						
	日本獣医生命科学大学	2	1			4					
鶴見大学	歯学部	4	1								
	文学部	7	4	3	6	3	1	2			
医歯薬・獣医※	麻布大学(獣医)						3	2	1		
	北里大学(獣医)						1	2		2	
	日本大学(獣医)						1				
	酪農学園大学(獣医)	1	1								
	奥羽大学(歯)										
	神奈川歯科大学(歯)						1	2	2		
	鶴見大学(歯)	4	1								
	松本歯科大学(歯)						1				
	明海大学(歯)						1	1		1	
	慶應義塾大学(薬)						1				
	昭和大学(薬)	1	1	1			2	1	1		
	昭和薬科大学(薬)	2	1	1			1		1		
	湘南医療大学(薬)						2	1	3	2	1
	帝京大学(薬)						1				
	帝京平成大学(薬)	2					2	1	1		
	東京薬科大学(薬)	1	4								
	日本大学(薬)						1				
	日本薬科大学(薬)						1				
	星葉科大学(薬)	1									
	明治薬科大学(薬)						1				
	横浜薬科大学(薬)	1	5	5			7	1	3		3

主な合格先の推移(過去5年間)

2023/4/17 判明分

大学名\入試年度	H 3 1	R 2	R 3	R 4	R 5	現役生		過年度生		不明
						内進生	高入生	内進生	高入生	
看護・医療技術※	麻布大学(臨床検査)			2						
	神奈川県立保健福祉大学(看護)				1	1		1		
	神奈川県立保健福祉大学(理学)				1					
	神奈川工科大学(看護)				2					
	関東学院大学(看護)	4	1	4	1					
	関西看護医療大学(看護)					2		2		
	北里大学(作業)	1								
	北里大学(理学)	1		1						
	共立女子大学(看護)	1								
	杏林大学(看護)				1					
	杏林大学(診療放射線)				1					
	杏林大学(臨床検査)			1		1		1		
	杏林大学(臨床工学)				1					
	国際医療福祉大学(看護)		1	1						
	駒沢女子大学(看護)	1								
	順天堂大学(医療看護)					1	1			
	順天堂大学(臨床検査)				1					
	順天堂大学(理学)				1					
	松蔭大学(看護)	1	2			1	1			
	湘南鎌倉医療大学(看護)		2							1
	湘南医療大学(看護)	1	1	1		1				
	湘南医療大学(理学)	1			1					
	湘南医療大学(作業)	1		1						
	昭和大学(看護)	1	1							
	昭和大学(作業)				1					
	帝京大学(看護)					1				
	帝京大学(視能矯正)				2	1				
	帝京大学(スポーツ医療)						2	2		
	帝京科学大学(看護)	1								
	帝京科学大学(理学)	1								
	帝京平成大学(看護)			1	1	1	1			
	帝京平成大学(理学)				1					
	帝京平成大学(救急救命)	1								
	帝京平成大学(臨床工学)					1				
	桐蔭横浜大学(生命医工学)					2				
	桐蔭横浜大学(臨床工学)					1				
	東京有明医療大学(鍼灸)	1				1				
	東京有明医療大学(柔道整復師)						1	1		
	東京医科大学(看護)		1							
	東京医療学院大学(看護)				1					
	東京医療学院大学(理学)	1				1				
	東京医療保健大学(看護)			1		1	5	3	2	
	東京医療保健大学(理学)					1				
	東京工科大学(看護)		1	1	1					
	東京工科大学(理学)					2				
	東京工科大学(臨床検査)	1			2	1				
	東京工科大学(作業)	1			1					
	東京工科大学(言語聴覚)				1					
	東京国際大学(理学)				1		1		1	
	東京女子医科大学(看護)						1		1	
	東邦大学(看護)	2	1		1	1	1	1		
	日本赤十字看護大学(看護)		1							
	文京学院大学(臨床検査)				1					
	防衛医科大学(看護)	1					2	2		
	横浜創美大学(看護)			4						
卒業生数		253	273	202	174	191	87	104	***	***

※開設必含む。

※「不明」…大学通信社調べ。一般入試合格者数(現浪合計)